

5つの都立博物館・美術館 計12の展覧会が無料に！

ウエルカムユース 18歳以下対象の「Welcome Youth 2024」を開催

～Sound AR™でストーリーを体験しながら、博物館・美術館を巡ろう～

人気声優の村瀬歩さん・安済知佳さんを起用！

公益財団法人東京都歴史文化財団は、18歳以下の若い世代に気軽に芸術文化に親しんでいただくための取組として、「Welcome Youth」事業を2024年も実施いたします。昨年より開催期間を2倍以上に延長し、3月1日(金)～4月7日(日)の間、18歳以下を対象に5つの都立博物館・美術館で開催される計12の対象展覧会を無料でご観覧いただけます。また3月1日(金)からは、5つの都立博物館・美術館を巡りながら、まるで物語の世界に入ったような体験が楽しめるSound AR™コンテンツ「はるのひかり」を提供します。音声は人気声優の村瀬歩さん・安済知佳さんが担当します。今春はぜひ都立文化施設へお越しいただき、お気軽に芸術文化に触れてみてください。

Welcome Youth 2024 開催概要

<トピック>

- **計12の展覧会に無料で入場可能！**
<対象>18歳以下(2005年4月2日以降生まれ)の方
 (年齢を証明できるものを必ずお持ちください。)
 - ・開催期間： 2024年3月1日(金)～4月7日(日)
 - ・対象展覧会： 2～4ページ目参照
 - ・対象施設： 江戸東京たてもの園、東京都美術館、
東京都庭園美術館、東京都写真美術館、
東京都現代美術館 ※展覧会によって会期が異なります。
- **博物館・美術館を巡る**
Sound AR™コンテンツ「はるのひかり」を提供！
<対象>どなたでもご参加いただけます
 - ・開催期間： 2024年3月1日(金)～5月31日(金)予定
 - ・詳細： 4～6ページ目参照
 - ・対象施設： 江戸東京たてもの園、東京都美術館、
東京都庭園美術館、東京都写真美術館、
東京都現代美術館



詳細は下記ウェブサイトにてご確認ください

<https://www.rekibun.or.jp/youth2024-1/>



※やむを得ない事情等により、内容が変更となる場合がございます。最新情報は上記ウェブサイトにてご確認ください。

■入場無料となる対象展覧会

2024年3月1日(金)～4月7日(日)の期間は18歳以下(2005年4月2日以降生まれ)の方が入場無料となります。

※年齢を確認できる証明書の提示が必要です。

※休館日および開館時間は施設によって異なります。必ず施設のウェブサイトにてご確認ください。

江戸東京たてもの園 <https://www.tatemonoen.jp/>

・江戸東京博物館コレクション ～江戸東京のくらしと乗り物～

対象期間:3月23日(土)～4月7日(日)

会期:2024年3月23日(土)～7月7日(日)

※3月1日(金)～4月7日(日)まで園内も無料でご覧いただけます。

※3月28日(木)は開園記念日のため、どなたでも入園無料です。

東京都江戸東京博物館のコレクションを元に、江戸東京の歴史や生活文化を紹介する展覧会です。近代において新たな「乗り物」の登場は、人々の生活に大きな変化をもたらしました。乗り物の果たした役割、技術革新の工夫、街並みの変容などを紹介いたします。



東京都美術館 <https://www.tobikan.jp/>

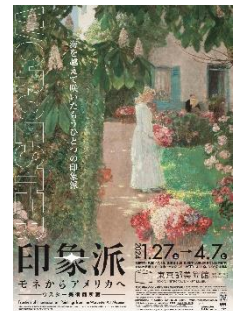
・印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

対象期間:3月1日(金)～4月7日(日)

会期:2024年1月27日(土)～4月7日(日)

※会期を通して高校生以下無料です。

西洋美術の伝統を覆した印象派の革新性とその広がり、とりわけアメリカ各地で展開した印象派の諸相に注目します。これまで日本で紹介される機会の少なかった、知られざるアメリカ印象派の魅力に触れていただく貴重な機会となります。



東京都庭園美術館 <https://www.teien-art-museum.ne.jp/>

・開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z

対象期間:3月1日(金)～4月7日(日)

※庭園もご入場いただけます。

会期:2024年2月17日(土)～5月12日(日)

開館40周年を記念して開催する本展は、改めて旧朝香宮邸をじっくりと読み解く趣旨の展覧会です。これまで培った調査や研究をもとに、建築技法、建設に携わった人々、室内意匠や素材、各時代にまつわるエピソード等、アルファベットのAからZを頭文字に持つキーワードをピックアップして解説します。



東京都写真美術館 <https://topmuseum.jp/>

・恵比寿映像祭 2024 コミッション・プロジェクト

会期:2024年2月20日(火)~3月24日(日)

※会期を通してどなたでも無料です。

日本を拠点に活動する新進アーティストを選出し、制作委嘱した映像作品を新たな恵比寿映像祭の成果として発表する「コミッション・プロジェクト」。前回特別賞を受賞した2名のアーティストである荒木悠、金仁淑(キム・インスク)による特別展示を、総合テーマ「月へ行く30の方法」と連動させながら具現化します。



・APA アワード 2024

対象期間:3月1日(金)~3月10日(日)

会期:2024年2月24日(土)~3月10日(日)

APA アワードは1961年より開催されている歴史ある写真の公募展で、これまで多数の写真家を数多く輩出してきました。「広告作品部門」は実際に世の中に流通した広告写真から審査・選出し、「写真作品部門」はテーマに沿って自由な発想と写真表現で競い合う写真コンペティションです。

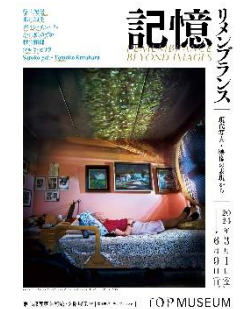


・記憶:リメンブランス—現代写真・映像の表現から

対象期間:3月1日(金)~4月7日(日)

会期:2024年3月1日(金)~6月9日(日)

写真・映像は、人々のどのような「記憶」を捉えようとしてきたのでしょうか。本展では、『決闘写真論』(1976年)における篠山紀信の示唆を起点としながら、現在注目されるテーマである高齢化社会や人工知能(AI)など日本、ベトナム、フィンランドの注目される7組8名のアーティストたちの新作、日本未公開作を含む70余点を紹介します。



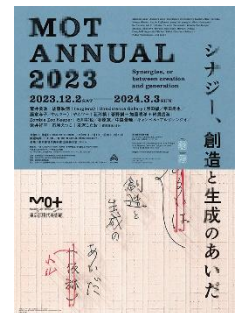
東京都現代美術館 <https://www.mot-art-museum.jp/>

・MOT アニュアル 2023 シナジー、創造と生成のあいだ

対象期間:3月1日(金)~3月3日(日)

会期:2023年12月2日(土)~2024年3月3日(日)

「創造と生成」の両域にまたがり活動する10代から30代を中心とした若手アーティスト11組が参加するグループ展。約50点の作品・資料を通して、「創造」と「生成」の間を考察し、私たちの知覚の拡がりを問いかけます。



・MOT コレクション 歩く、赴く、移動する 1923→2020

特集展示 横尾忠則—水のように／生誕100年 サム・フランシス

対象期間:3月1日(金)~3月10日(日)

会期:2023年12月2日(土)~2024年3月10日(日)

1階は「歩く／赴く／移動する」をキーワードに、約100年の時に跨る多彩な作品を展示します。3階の横尾忠則の特集展示では、絵画とグラフィック作品約70点を展示します。サム・フランシスの大きな絵画のシリーズもお楽しみください。



・豊嶋康子 発生法——天地左右の裏表

対象期間:3月1日(金)~3月10日(日)

会期:2023年12月9日(土)~2024年3月10日(日)

豊嶋康子(1967-)は、1990年より30年以上にわたって、私たちを取り巻くさまざまな制度や価値観、約束事に対して「私」の視点から独自の仕方に対峙し続けてきた作家です。本展は、こうした豊嶋の制作の全貌を、初期作品から新作まで500点近くを一堂に集め検証する初めての試みです。



・サエボーグ「I WAS MADE FOR LOVING YOU」／

津田道子「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」

Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展

会期:2024年3月30日(土)~7月7日(日)

※会期を通してどなたでも無料です。

中堅アーティストを対象に、受賞から複数年にわたる継続的支援によって、更なる飛躍を促すことを目的に、東京都とトーキョーアーツアンドスペースが2018年度から実施している現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)」。第4回となる「TCAA 2022-2024」受賞者のサエボーグと津田道子による受賞記念展を開催します。



・ホー・ツーニエン エージェントのA

対象期間:4月6日(土)・7日(日)

会期:2024年4月6日(土)~7月7日(日)

美術のみならず、映画や演劇の分野でも世界的に活躍するシンガポール人アーティスト、ホー・ツーニエン(1976-)の個展。東南アジアの歴史的な出来事や思想、アイデンティティに独自の視点から切り込む6点の映像インスタレーション作品と、国内初公開となる最新作を紹介します。

・MOT コレクション

対象期間:4月6日(土)・7日(日)

会期:2024年4月6日(土)~7月7日(日)

東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。

■博物館・美術館を巡る Sound AR コンテンツ「はるのひかり」を提供！

2024年3月1日(金)からは、5つの博物館・美術館を巡りながら、まるで物語の世界に入ったような体験が楽しめる Sound AR コンテンツ「はるのひかり」を提供します。

Sound AR サービス「Locatone™(ロケトーン)」を活用した、現実世界に仮想世界の音が混ざり合う新感覚の音響体験をお楽しみください。

音声は、人気声優の村瀬歩さん・安済知佳さんが担当します。



「はるのひかり」

対象期間： 2024年3月1日(金)～5月31日(金)予定
※どなたでもご体験いただけます。

- 体験方法： ①ご自身のスマートフォンとヘッドホンまたはイヤホンをご用意ください
②Locatone アプリをインストールします
③「東京都歴史文化財団」チャンネルから、「はるのひかり」ツアーを選択し、「ダウンロード」ボタンを押して事前にツアーデータをダウンロードします
④「ツアーを開始する」をタップし、マップ上に表示された都立博物館・美術館のスポットを訪れると、自動で音声が届いてきます
⑤全てのスポットをめぐる、コンプリートストーリーを聴くことができます

※スマートフォンの位置機能(GPS)をオンにしてください。

※スマートフォンの充電を十分にした状態でご参加ください。

※一度訪問したスポットの音声は、開催期間中であれば、スポットリストからいつでも聞き直し可能です。

概要： 誰にも言えないモヤモヤを抱えた5人の高校生たちが、不思議なポスターに誘われ、博物館・美術館に向かうところからはじまる完全オリジナルストーリー。

身体の動作と連動して音を鳴らせるモーションサウンド技術で物語の世界に入ったような体験が楽しめ、ARカメラによる写真撮影も可能。訪れた方だけが体験できる期間限定のストーリーをお楽しみください。

担当声優： ○村瀬 歩 (むらせ あゆむ)

12月14日生まれ。アメリカ合衆国出身。アスターナイン所属。2011年に声優デビューし、2014年にアニメ「ハイキュー!!」日向翔陽役で初主演を果たす。主な出演作に「ひろがるスカイ！プリキュア」(夕凧ツバサ／キュアウイング)、「鬼滅の刃 刀鍛冶の里編」(小鉄)など。



○安済 知佳 (あんざい ちか)

12月22日生まれ。福井県出身。エイベックス・ピクチャーズ所属。主な出演作は「リコリス・リコイル」錦木千束、「響け！ユーフォニアム」高坂麗奈、「SSSS.DYNAZENON」飛鳥川ちせ、「ガンダムビルドメタバース」リオ(ホウジョウ・リオ)など。



詳細は下記特設ウェブサイトにてご確認ください
<https://welcomeyouth-event.org>

Locatone(ロケトーン)とは

Locatone は、ソニーが開発した Sound AR(現実世界に仮想世界の音が混ざり合う新感覚の音響体験)を楽しむためのサービスです。ツアーを開始し、マップ上にある特定のスポットを訪れると、位置情報に連動して自動的に音声や音楽が聞こえてきます。音を聴きながら街をめぐることで、街の新しい魅力や楽しみ方を発見することができます。

Locatone 公式ウェブサイト <https://www.locatone.sony.net/>

※「Sound AR」および「Locatone」はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。

＜本件に関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社プラチナム内):小野(慶)・藤岡
MAIL:artscouncil-tokyo-pr@vectorinc.co.jp TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075